

# グラフで見る統計あつぎ

— 令和6年版 —



この資料の見方

(例) 1 行政区画・土地・気象

## ■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)

統計あつぎ4頁「5 地目別土地利用状況」を  
基に作成しています。



# － 目次 －

## 行政区画・土地・気象

- 都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況 ······ 4
- 月別平均気温と降雨量（令和6年中） ······ 4

## 人口

- 人口と世帯数の推移 ······ 5
- 外国人登録者数の推移等 ······ 5
- 人口動態（社会動態）の年次別推移 ······ 6
- 人口動態（社会動態）の月別推移（令和6年中） ······ 6
- 人口動態（自然動態）の年次別推移 ······ 7
- 人口動態（自然動態）の月別推移（令和6年中） ······ 7
- 年齢別各歳人口の推移（県年齢別人口統計調査） ······ 8

## 事業所

- 事業所数及び従業者数の推移 ······ 9
- 従業者規模別事業所数 ······ 9
- 産業大分類別事業所数（令和3年6月1日現在） ······ 10
- 産業大分類別従業者数規模別事業所数（市内シェア上位5分類） ··· 10

## 工業

- 従業者規模別事業所数の推移 ······ 11
- 従業者規模別従業者数の推移 ······ 11

## 商業・観光・金融

- 業態別事業所数、従業者数及び年間販売額 ······ 12
- 観光客数及び消費額 ······ 13

## 農林業

- 地区別農業経営体数 ······ 14

## 交通・通信

- 市内鉄道利用状況の推移（本厚木駅・愛甲石田駅） ······ 14
- 高速道路インターチェンジ利用状況の推移 ······ 15

## 財政

- 一般会計歳入歳出決算額 ······ 16

## 行政・選挙

- 市職員数 ······ 16
- 市民相談受理件数 ······ 16

## 教育・文化・宗教

- 幼稚園の幼児数、小学校児童数、中学校生徒数の推移 ······ 17

# － 目次 －

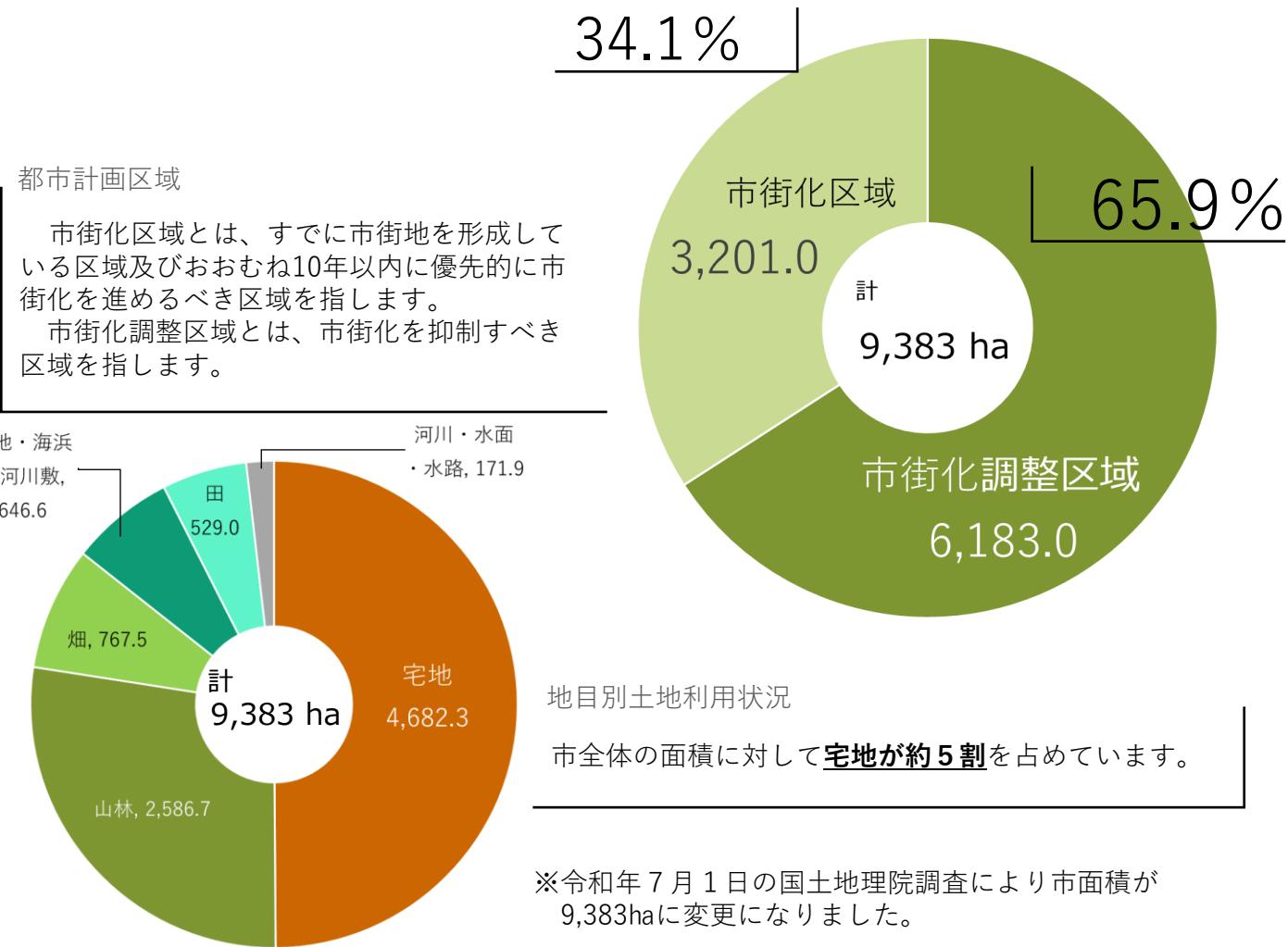
## 社会福祉・労働

■生活保護者数	18
■保育所の設置状況及び保育園児数	18

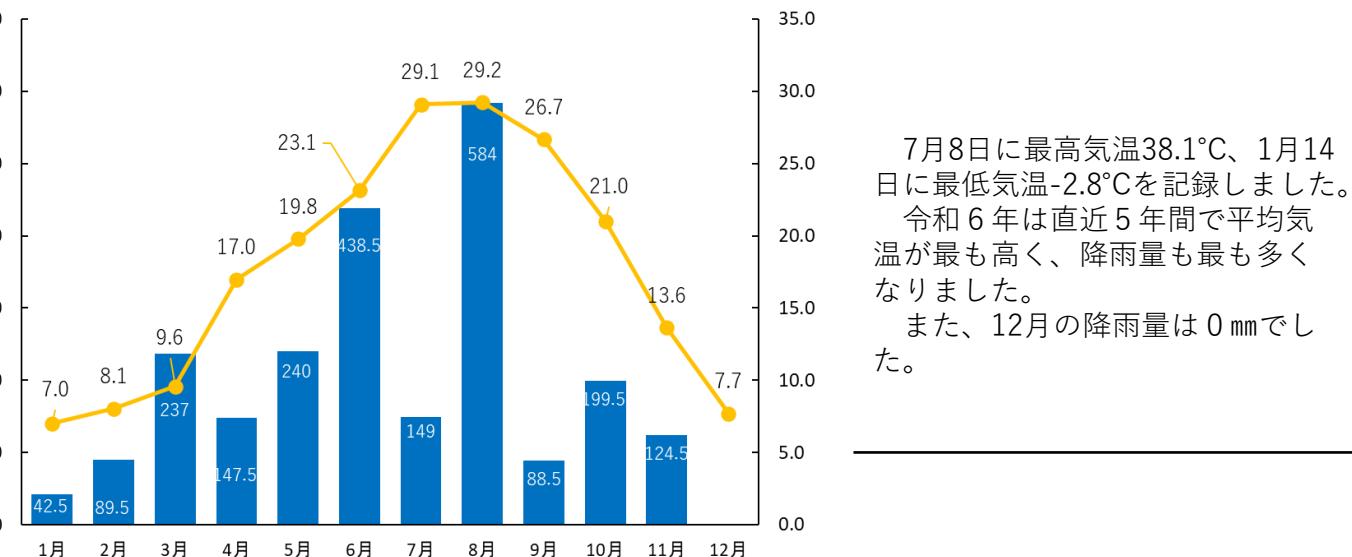
## 治安・災害

■火災発生件数、交通事故発生件数	19
------------------	----

## ■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)



## ■月別平均気温と降雨量(令和6年中)(8)



## ■人口と世帯数の推移(9)

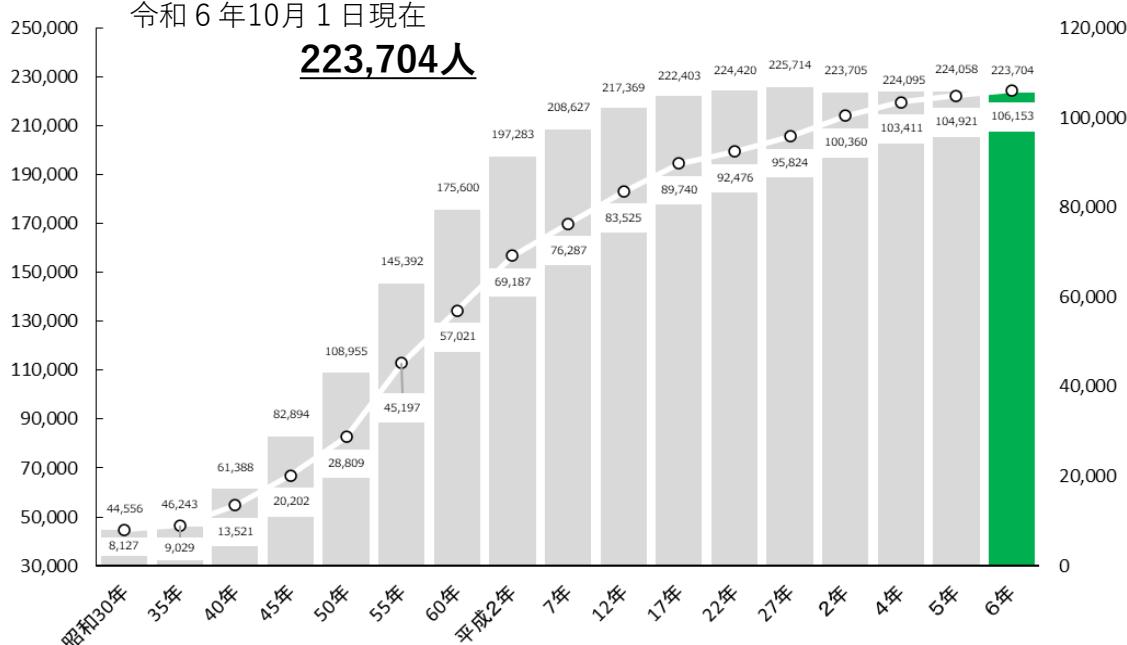
昭和30年～令和6年

■ 人口（総数）

○ 世帯数

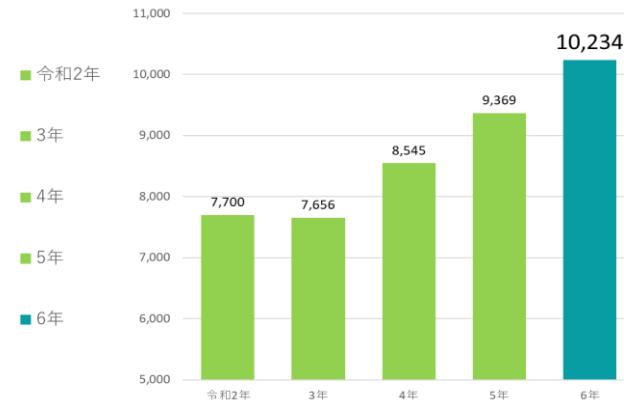
令和6年10月1日現在

平成22年以降は22万人台半ばで推移しています。



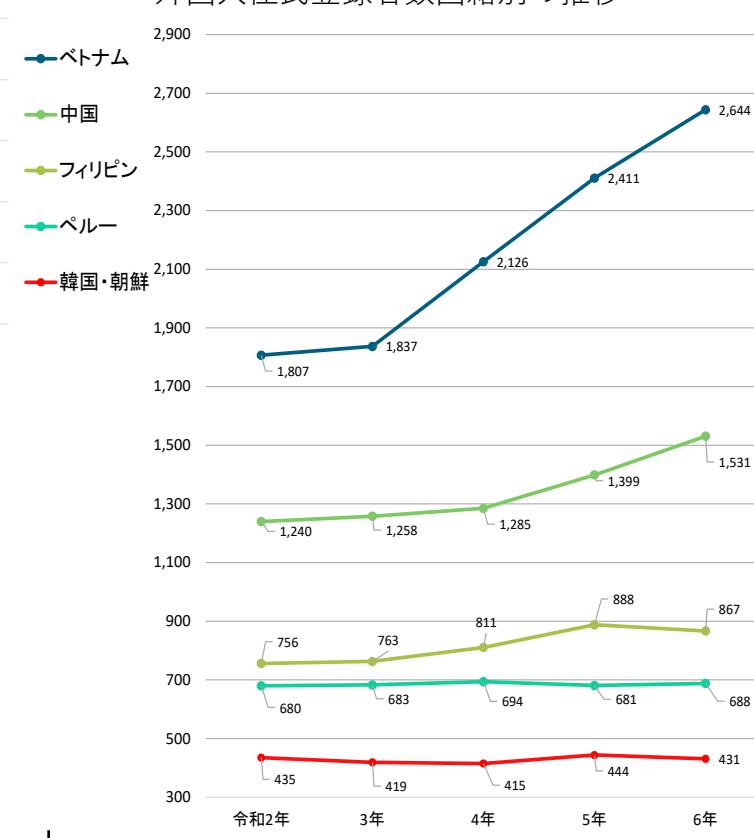
## ■外国人住民登録者数の推移等(11)

外国人住民登録者数の年次推移



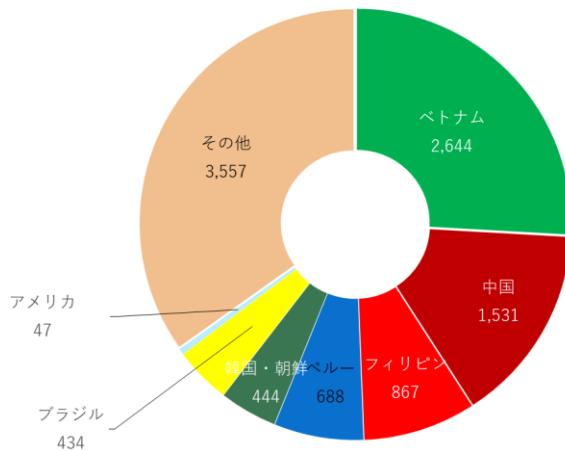
外国人住民登録者数は増加傾向にあり、県内で4番目に多い数値となっています。

## 外国人住民登録者数国籍別の推移



特に、ベトナム人が増加しています。

## 令和6年外国人住民登録者国籍別の割合

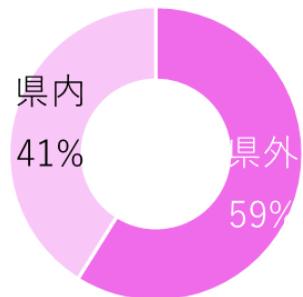
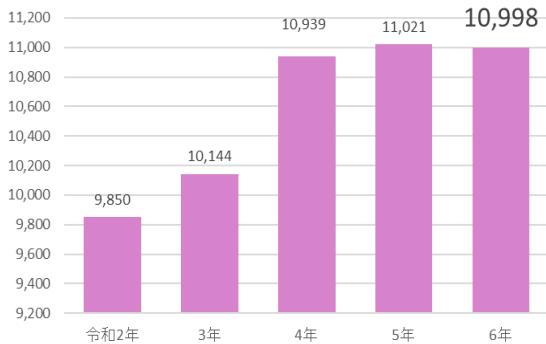


## ■人口動態(社会動態)の年次別推移(17)

令和6年中の転入者数の県内外割合

転入者数の推移

■ 転入

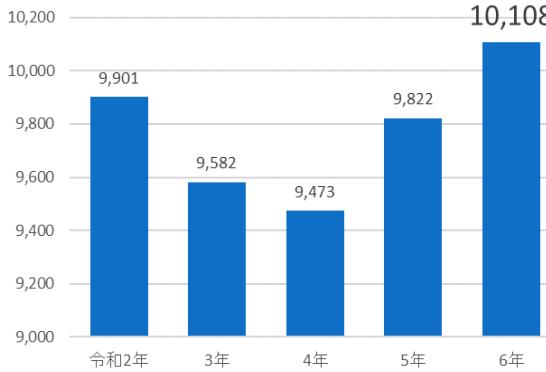


転入者が転出者を上回る転入超過となりました。

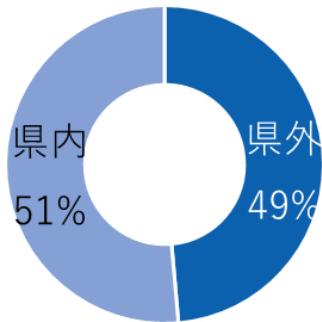
転入者数 - 転出者数 = **プラス890人**

転出者数の推移

■ 転出



令和6年中の転出者数の県内外割合

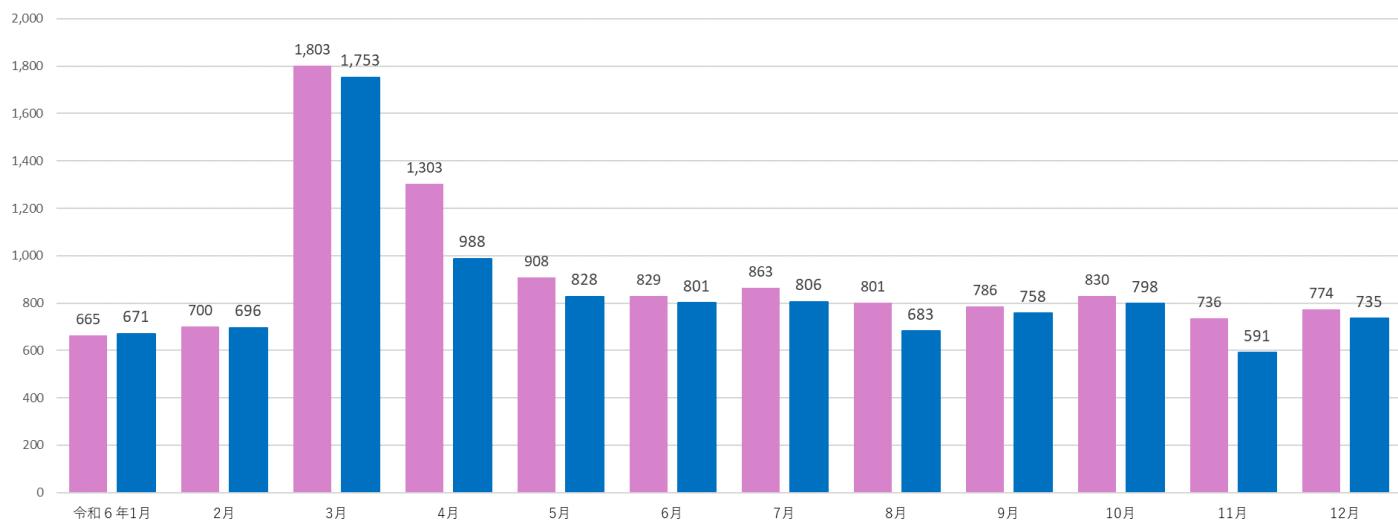


## ■人口動態(社会動態)の月別推移(令和6年中)(17)

令和6年中の月別転入者数及び転出者数の推移

■ 転入

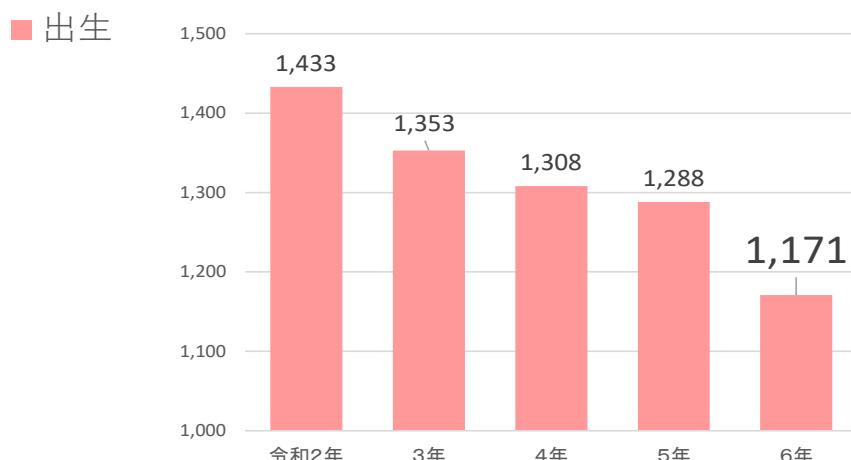
■ 転出



1月以外の月で転入者数が転出者数を上回りました。

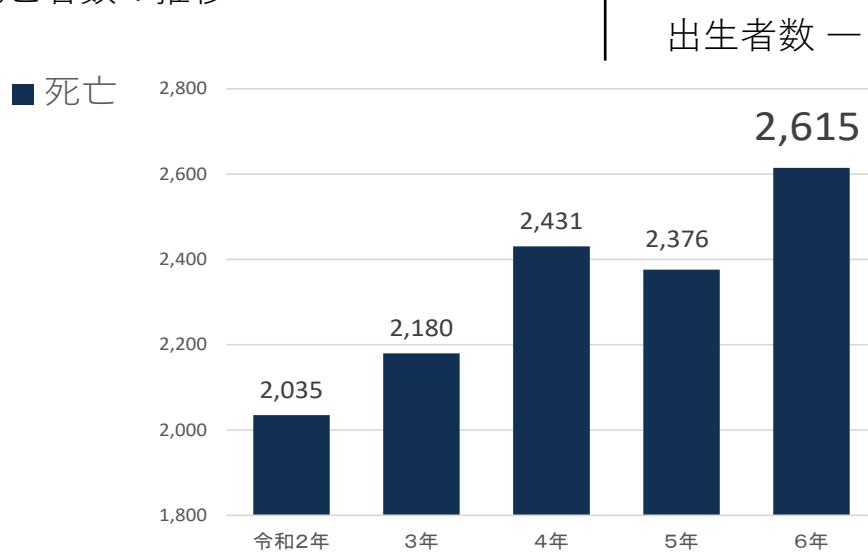
## ■人口動態(自然動態)の年次別推移(17)

### 出生者数の推移



出生者数より死者数が上回る**死亡超過**となっています。

### 死者数の推移



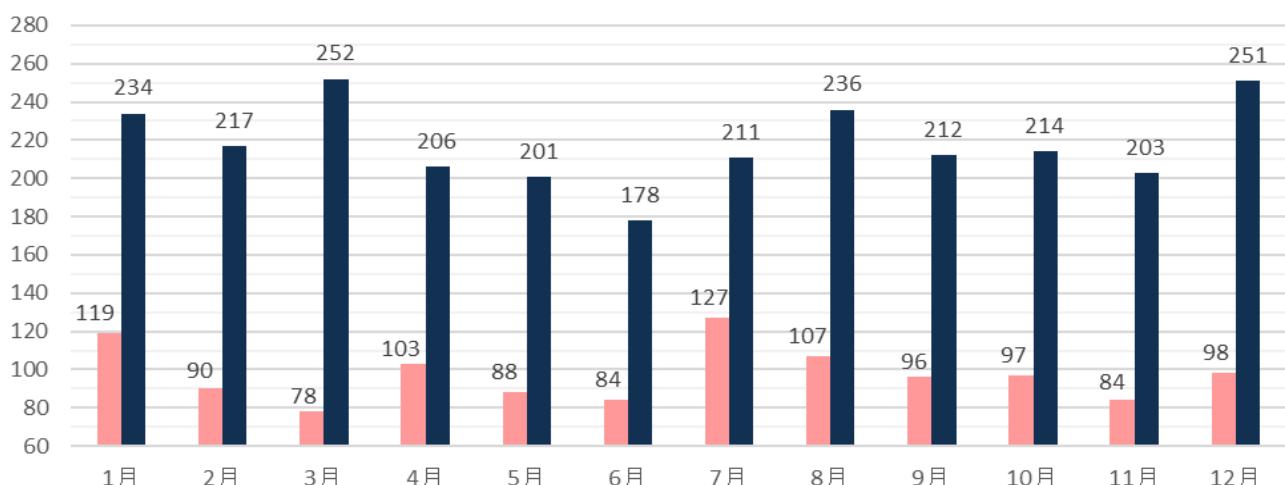
$$\text{出生者数} - \text{死者数} = \Delta 1,444 \text{人}$$

## ■人口動態(自然動態)の月別推移(令和6年中)(17)

### 人口動態(自然動態)の月別推移

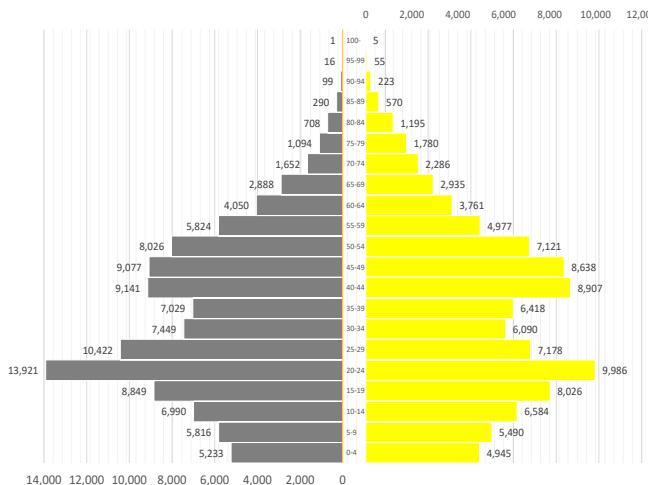
■出生 ■死亡

(単位 件)

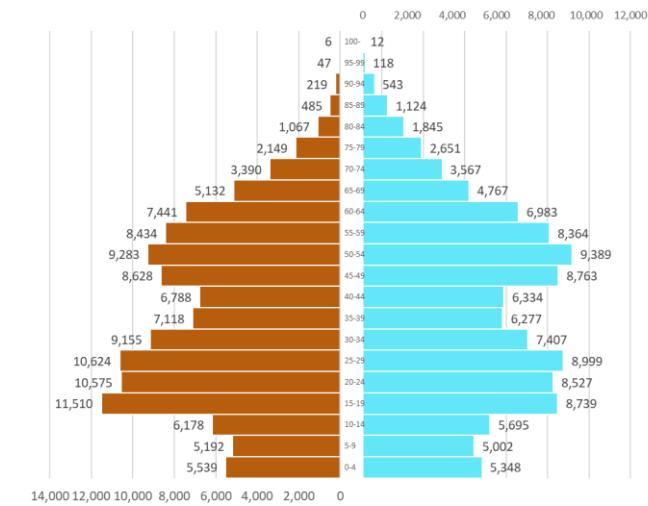


# ■年齢別各歳別人口の推移(県年齢別人口統計調査)(19)

平成6年1月1日現在



平成16年1月1日現在



平成26年1月1日現在



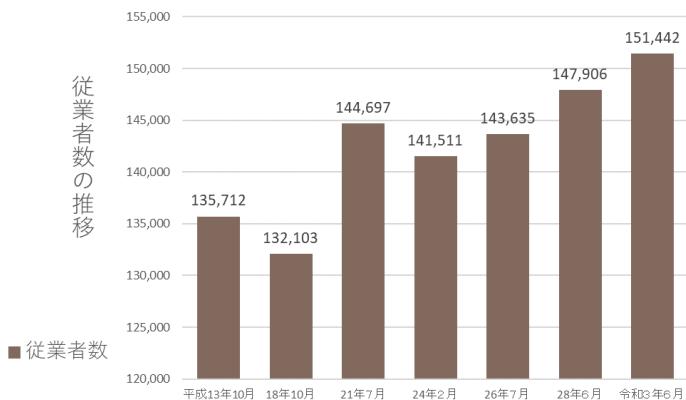
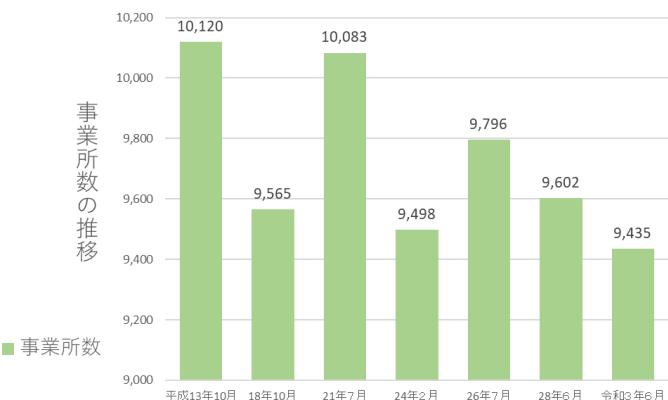
令和6年1月1日現在



平成6年は20-24歳、平成16年は25-29歳、平成26年は40-44歳、令和6年は50-54歳が年代別（5歳階級）で最も人口が多く、グラフの形状がピラミッド型からつぼ型に変化していることが分かります。

### 3 事業所

#### ■事業所数及び従業者数の推移(29)

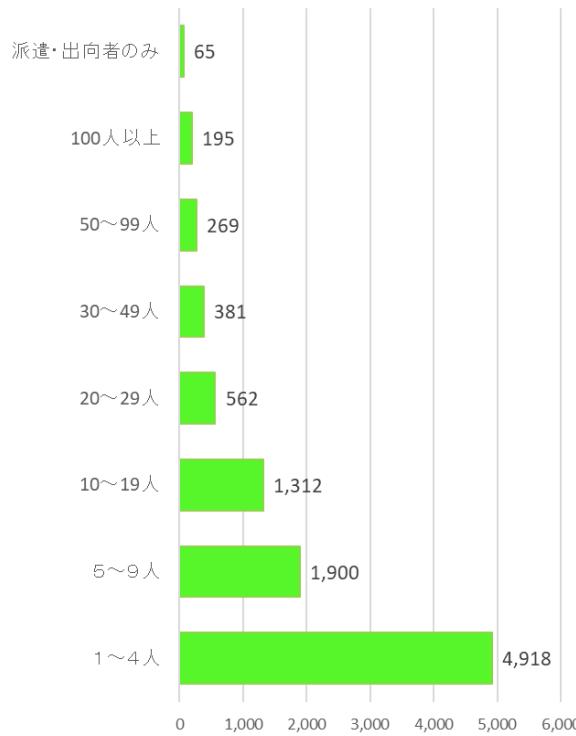


事業所数は減少している一方で、従業者数は増加しています。

また、従業者数の多い事業所数が増加し小規模の事業所は減少しています。

#### ■従業者規模別事業所数(32)

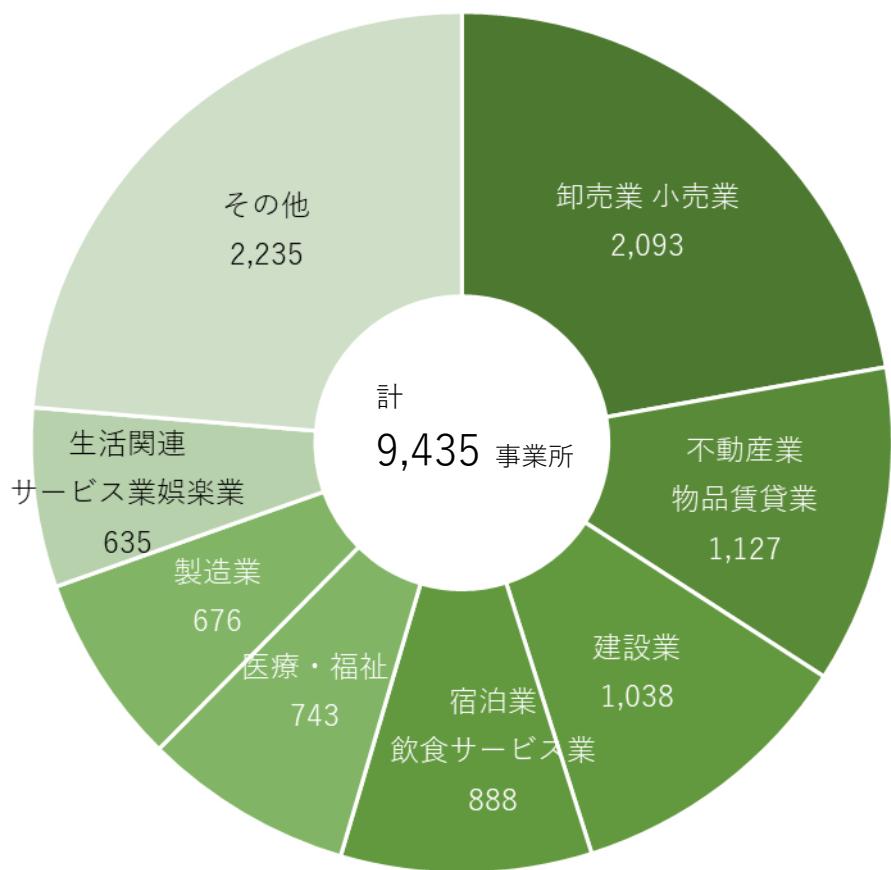
平成28年



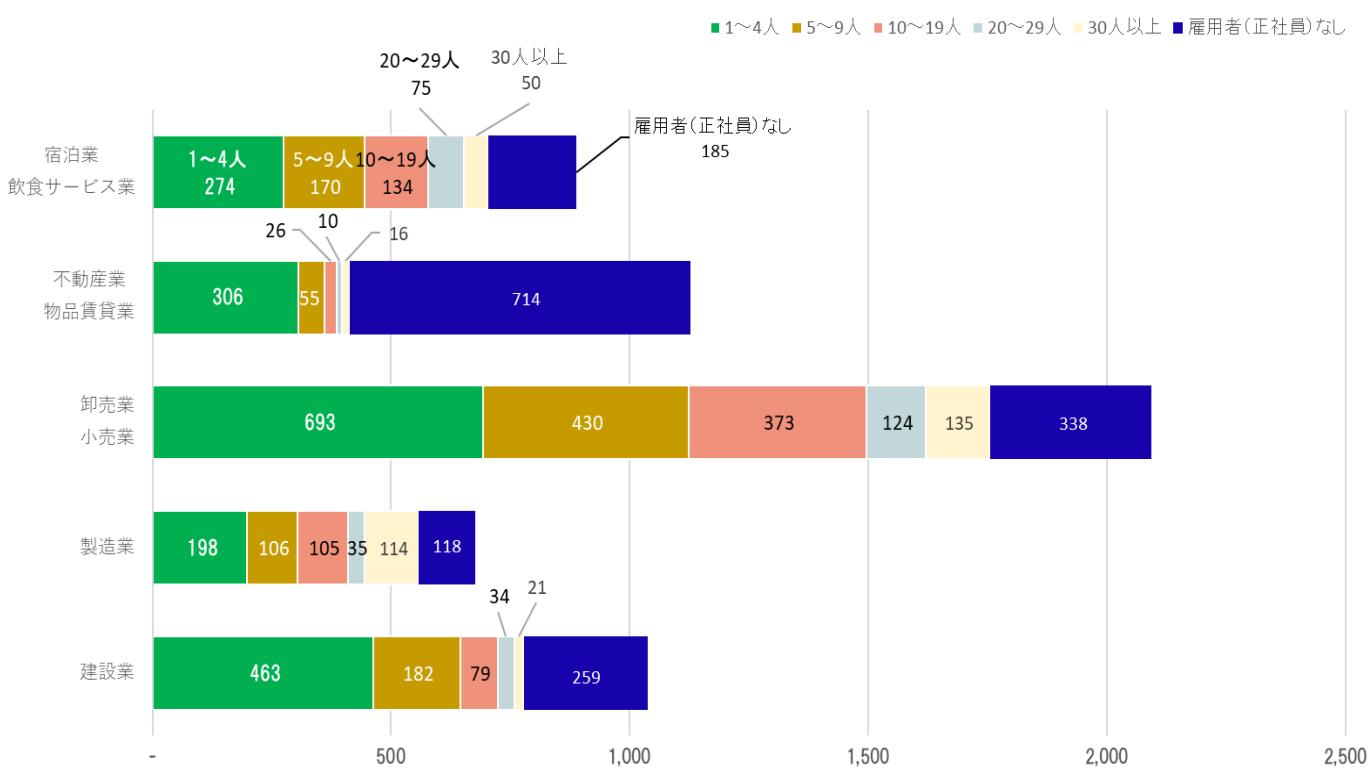
令和3年



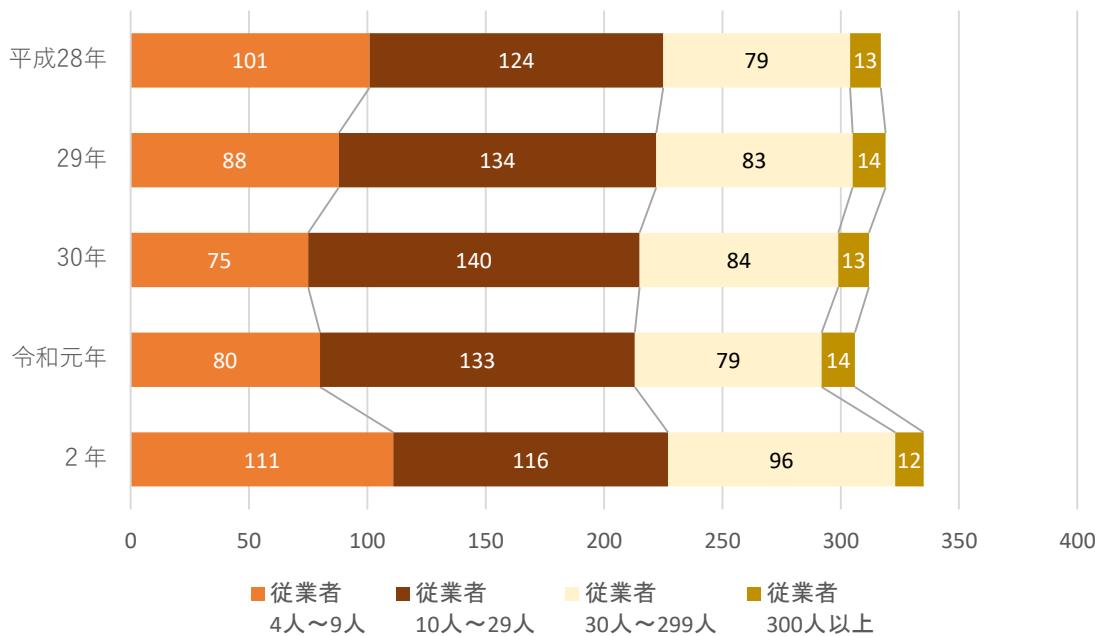
## ■産業大分類別事業所数(令和3年6月1日現在) (31)



## ■産業大分類別従業者数規模別事業所数(市内シェア上位5分類) (32)



## ■従業者規模別事業所数の推移(35)



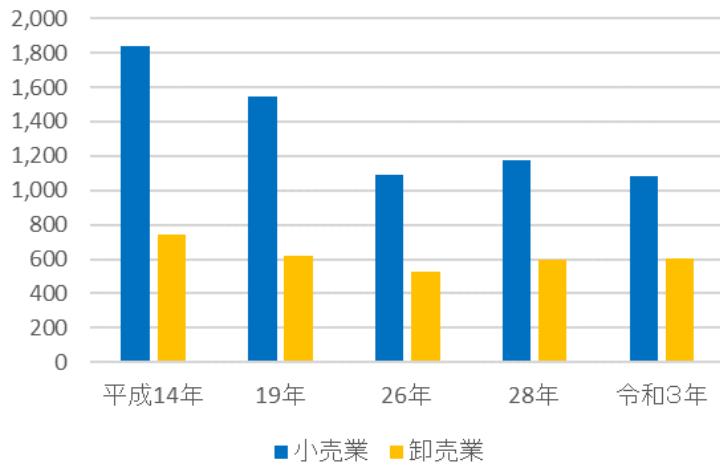
## ■従業者規模別従業者数の推移(36)



令和2年の製造業は企業数が増加し、従業者数は減少しました。特に、従業者300人未満では事業所、従業者数が増加した一方、従業者300人以上では共に減少となりました。

### ■業態別事業所数、従業者数及び年間販売額(46)

事業所数の推移

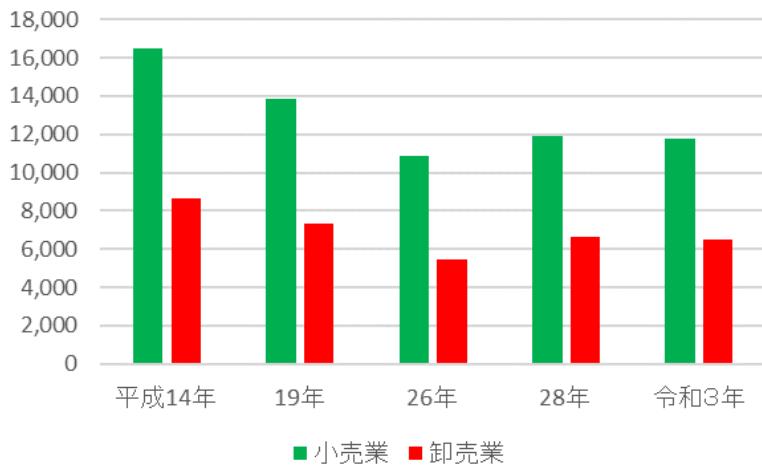


小売業の事業所数は減少傾向にあるのに対し、卸売業は大きな変化がなく推移しています。



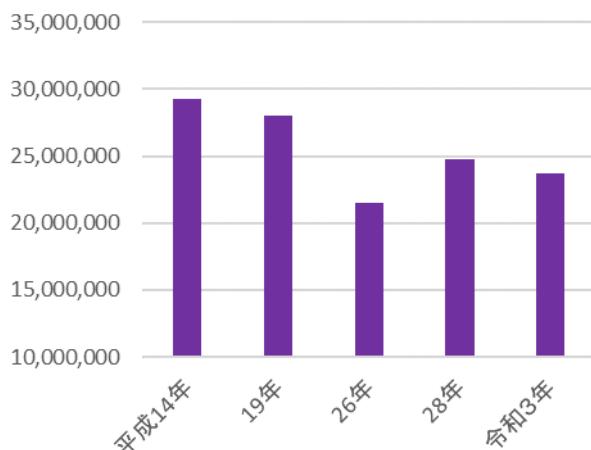
小売業の事業所数(店舗数)と売り上げは比例関係にあります。

従業者数の推移

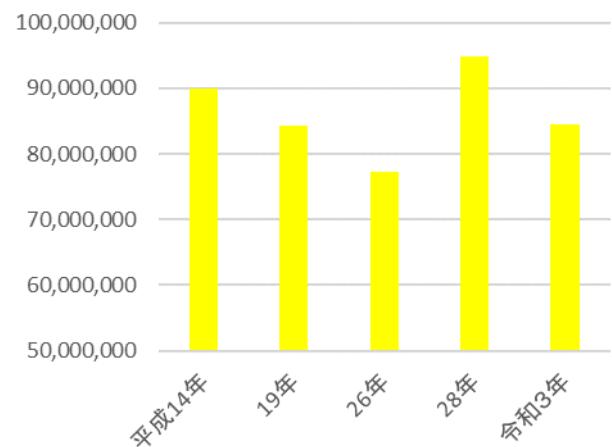


小売業の従業者数は減少傾向にあるのに対し、卸売業は大きな変化なく推移しています。

年間販売額(小売業)



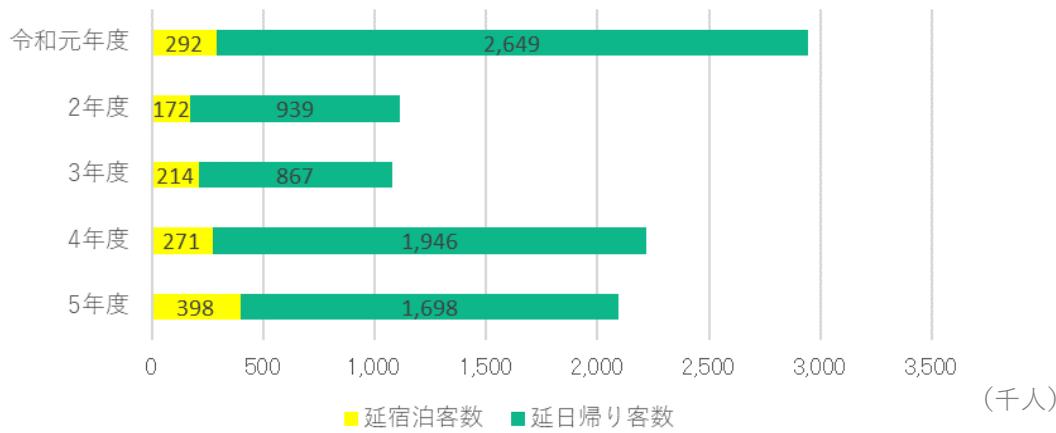
年間販売額(卸売業)



小売業は店舗数の減少と共に販売額も減少していますが、卸売業では平成28年に販売額が最も多くなっています。

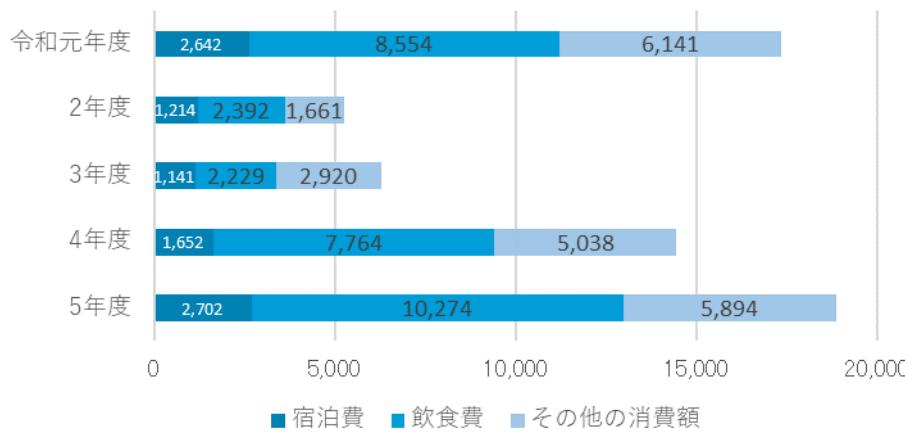
## ■観光客数及び消費額(53)

## 観光客数の推移



新型コロナウイルス感染症による行動制限等の影響で減少していた観光客数は、回復傾向となっています。

## 観光客消費額の推移



観光客数と同様に新型コロナウイルス感染症による行動制限等の影響から減少していた観光客消費額も回復傾向となっています。

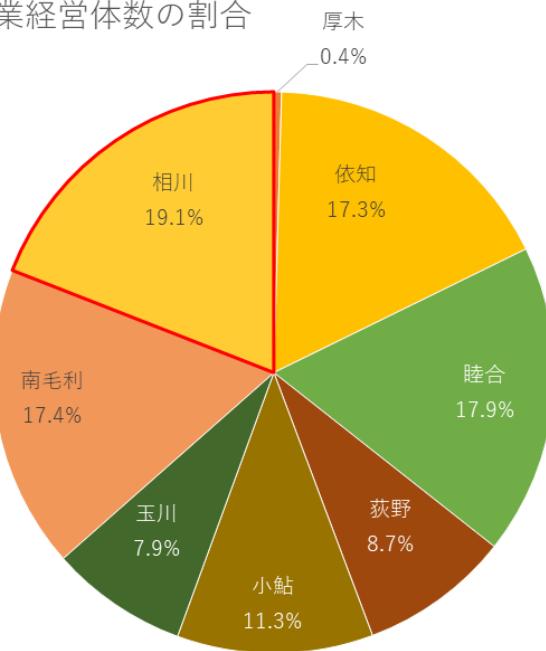
## 1人当たりの消費額



1人当たりの消費額は、令和3年から増加傾向にあり、令和元年度よりも高くなっています。

## ■地区別農業経営体数(61)

地区別農業経営体数の割合



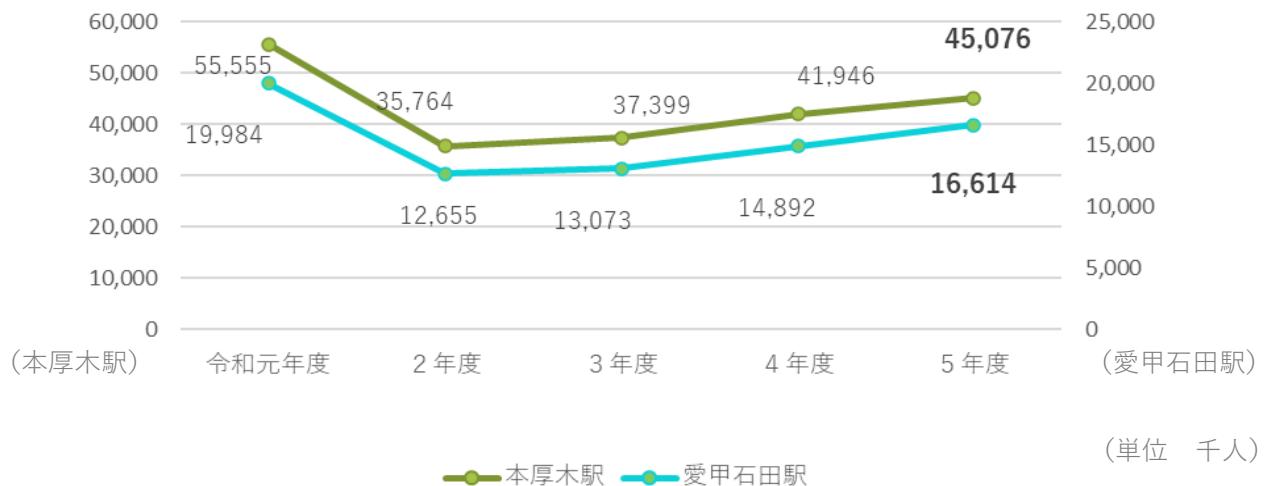
市内で農業経営体数が  
**最も多いのは相川地区**です。

農業経営体：経営耕地面積が30a以上

事業の規模が各基準以上又は農作業の受託の事業を行う者を指します。

## ■市内鉄道利用状況の推移(本厚木駅・愛甲石田駅)(77)

各駅乗降者数の推移

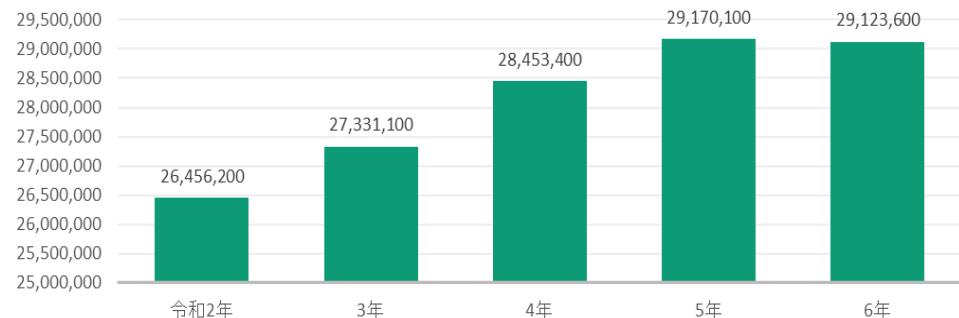


令和2年の新型コロナウイルス感染症による行動制限等の影響により大きく減少していましたが、少しづつ回復しています。

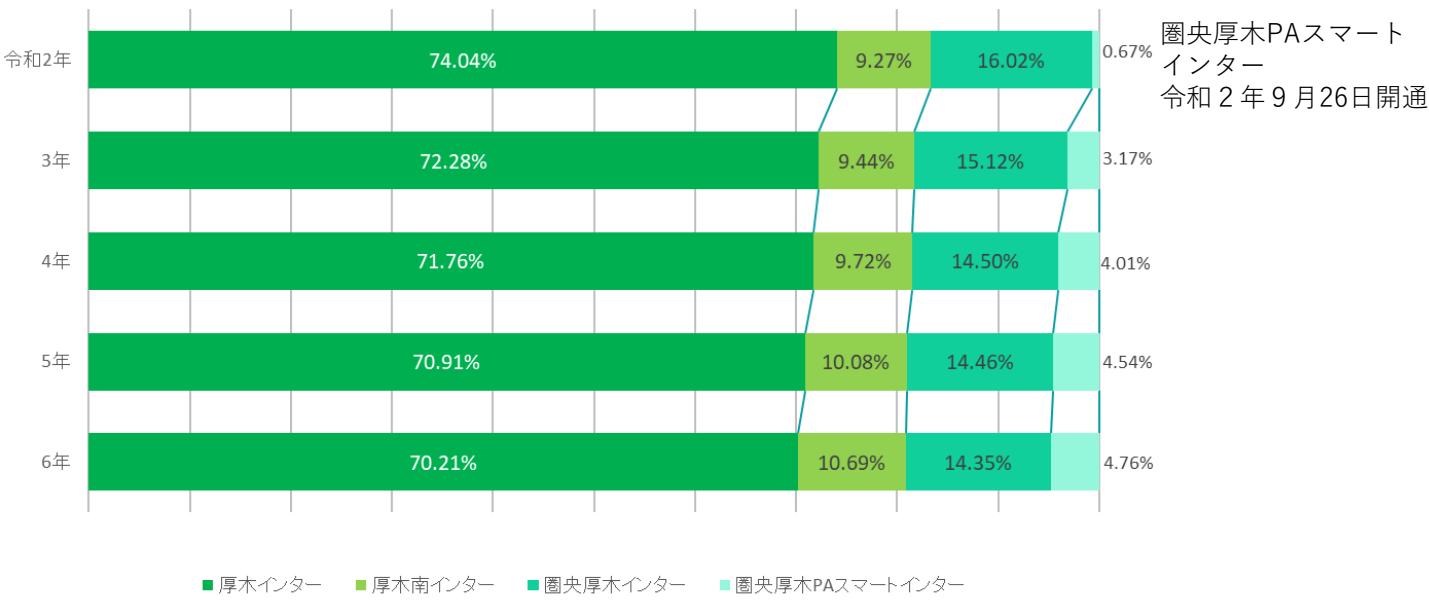
## ■高速道路インターチェンジ利用状況の推移(84)

年度別利用状況

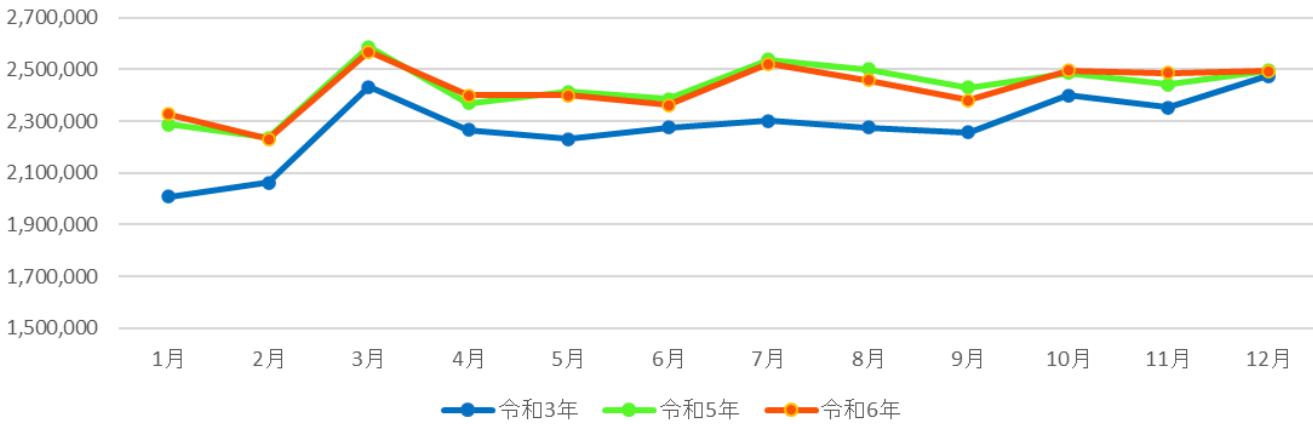
インターチェンジ利用状況は令和2年に新型コロナウイルス感染症による行動制限等の影響から、大きく下落しましたが、その後は回復傾向にあります。



インター別利用割合推移

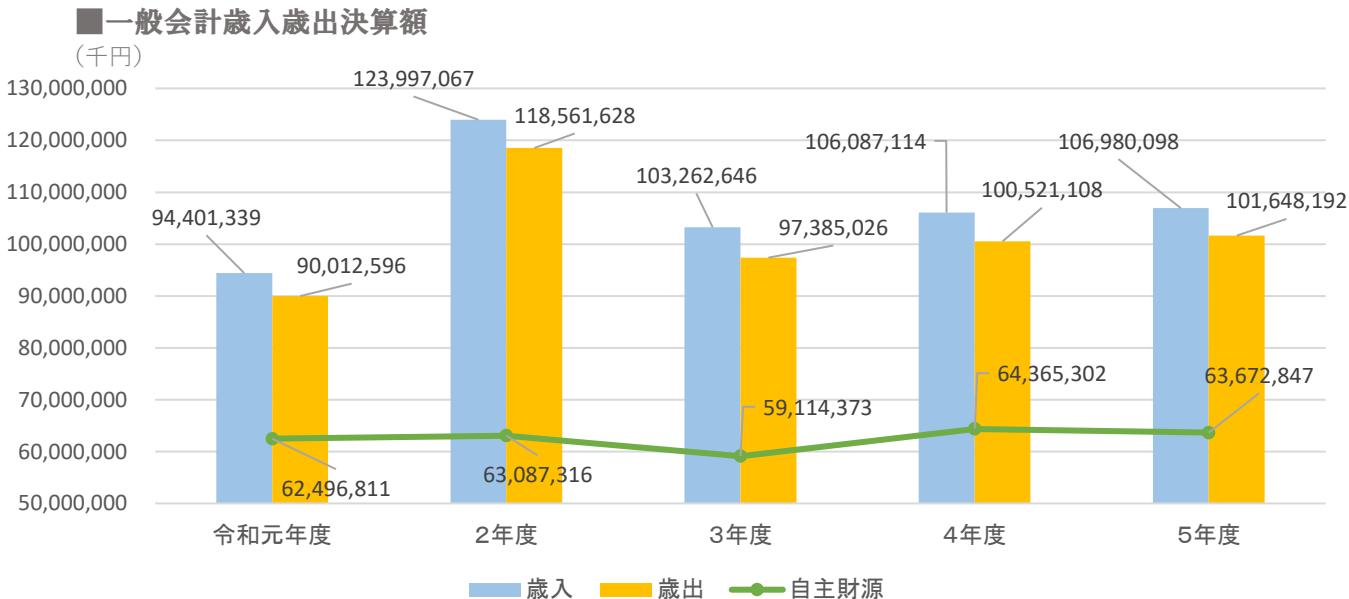


インター別月別利用状況(R3~6年) ※令和4年データなし



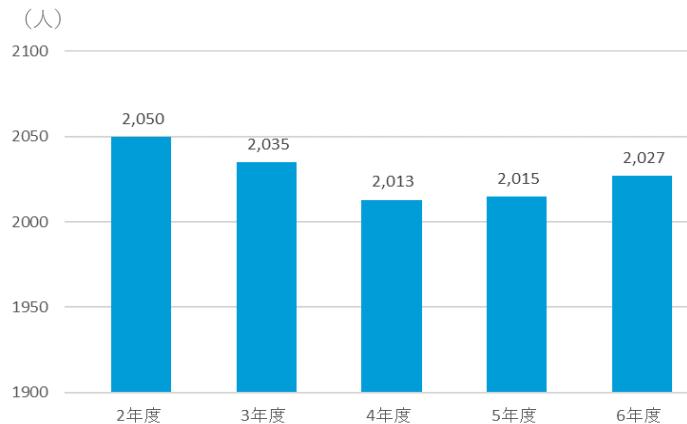
市内4か所のインターチェンジ利用状況の総数は令和3年から増加しています。

## ■一般会計歳入歳出決算額(91)



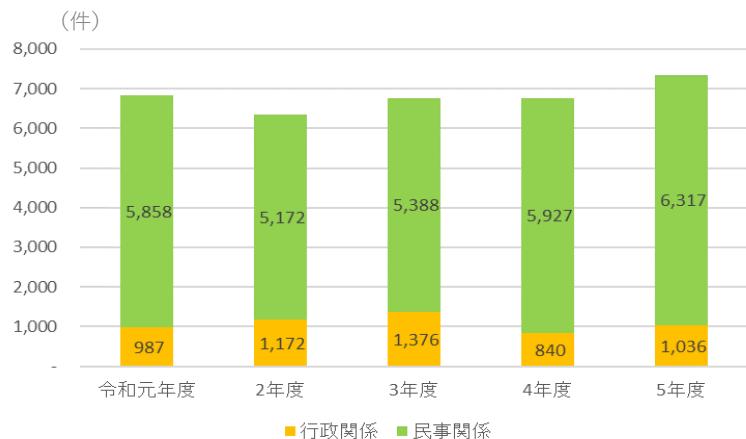
歳入・歳出ともに増加しています（令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策による増）。

## ■市職員数(105)



職員数は減少傾向でしたが令和5年、6年度については前年比で増加しています。

## ■市民相談受理件数(109・110)



民事関係の市民相談件数が増加傾向にあります。

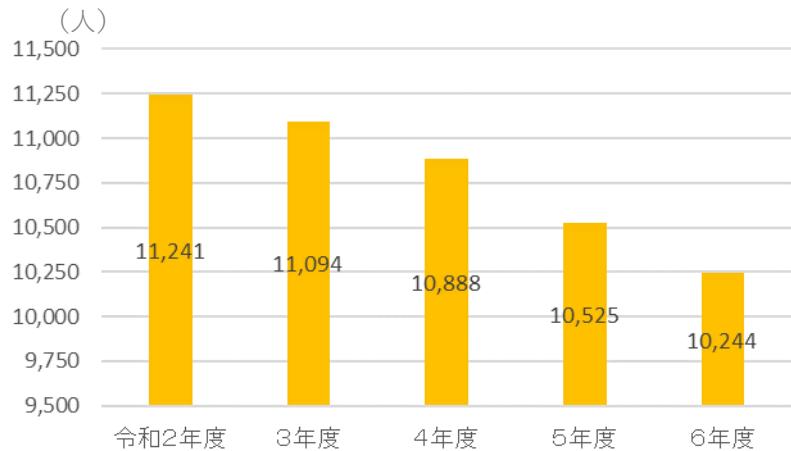
## ■幼稚園の児童数(120)、小学校児童数(121)、中学校生徒数(122)

## ■幼稚園の児童数



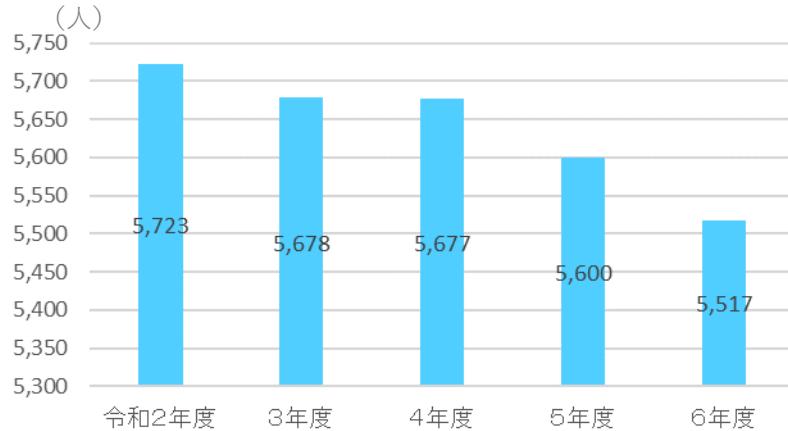
直近5年間の幼稚園児数は、毎年度4～6%程度減少しており、令和2年から約18%減少しました。

## ■小学校児童数推移



小学校児童数も幼稚園児数と同様に、減少しています。直近5年間では毎年度1～4%程度の減少が続いており、令和2年から約9%減少しました。

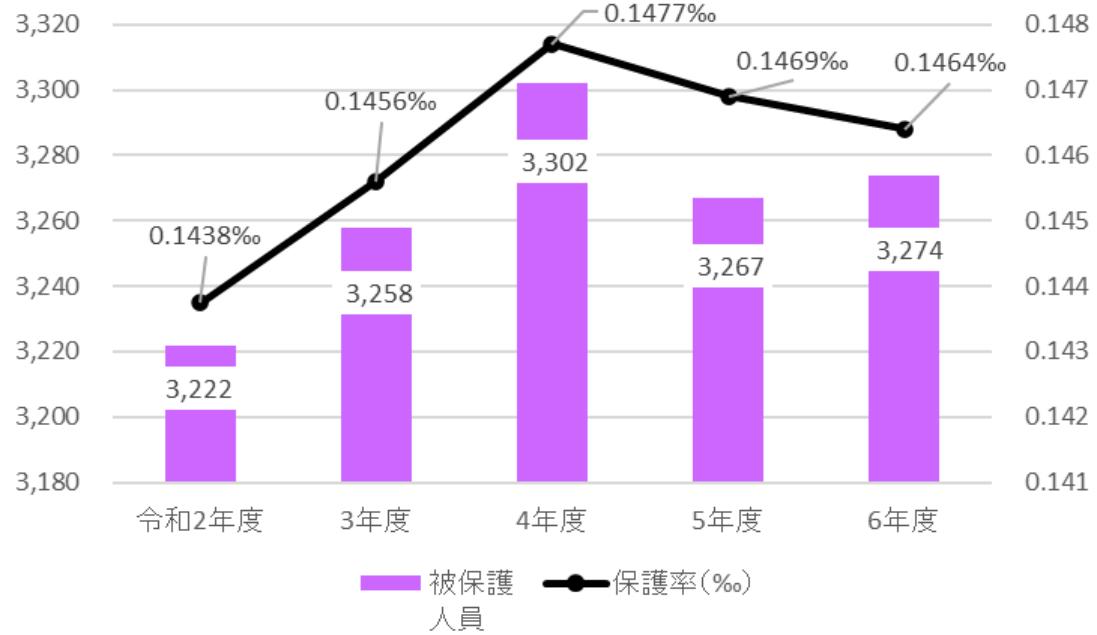
## ■中学校生徒数推移



中学校生徒数も減少しており、直近5年間では毎年度0～2%減少しています。

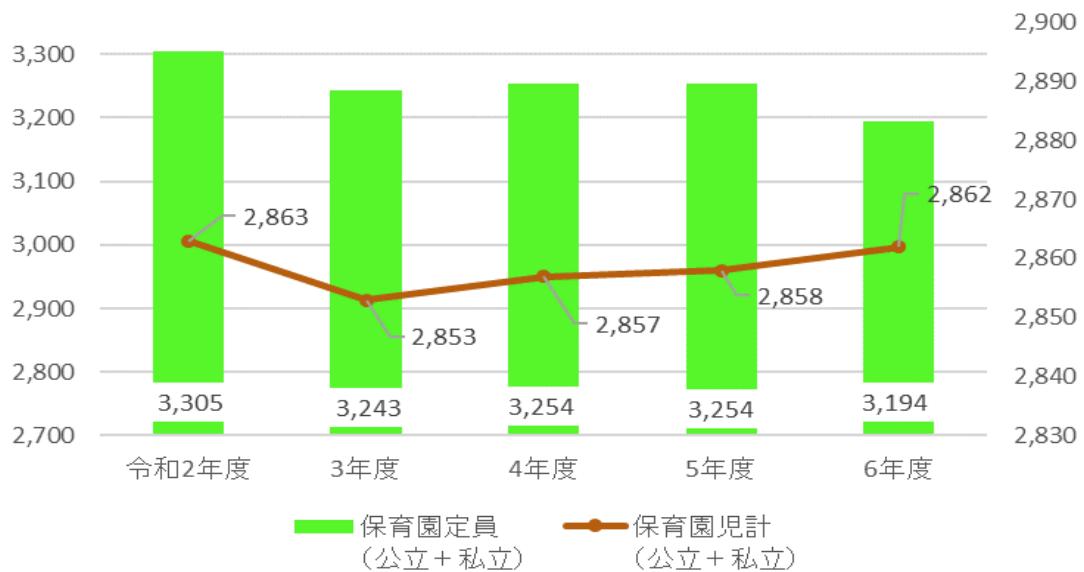
なお、令和2年から約4%減少しました。

## ■生活保護者数(170)



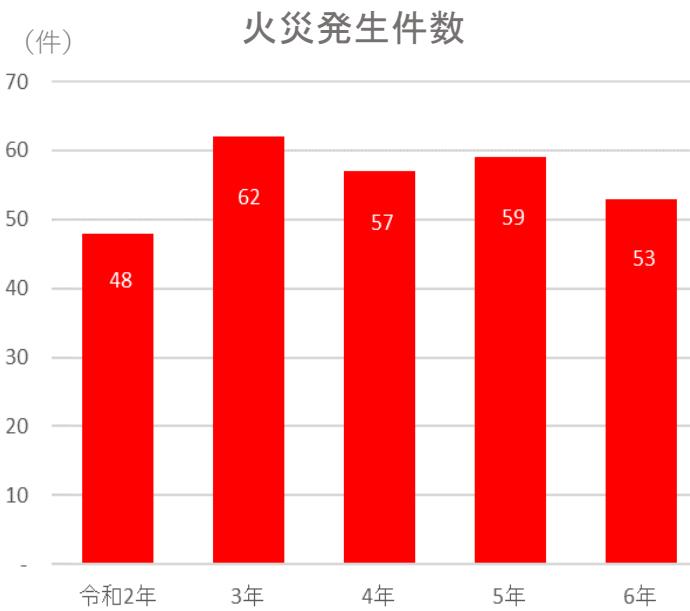
生活保護率は令和4年まで上昇していましたが、令和5年は7年ぶりに減少し、令和6年も減少しました。

## ■保育所の設置状況及び保育園児数(172)

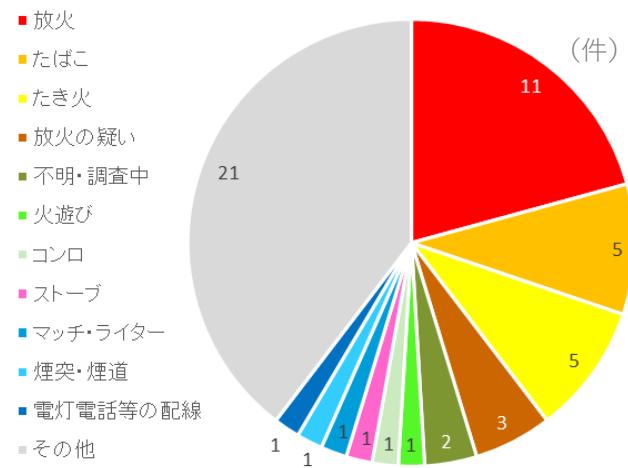


直近5年間で保育園児数に大きな変化はありませんが、公立の園児数は減少し、私立の園児数は増加しています。

## ■火災発生件数(216・217)



## 原因別火災発生件数



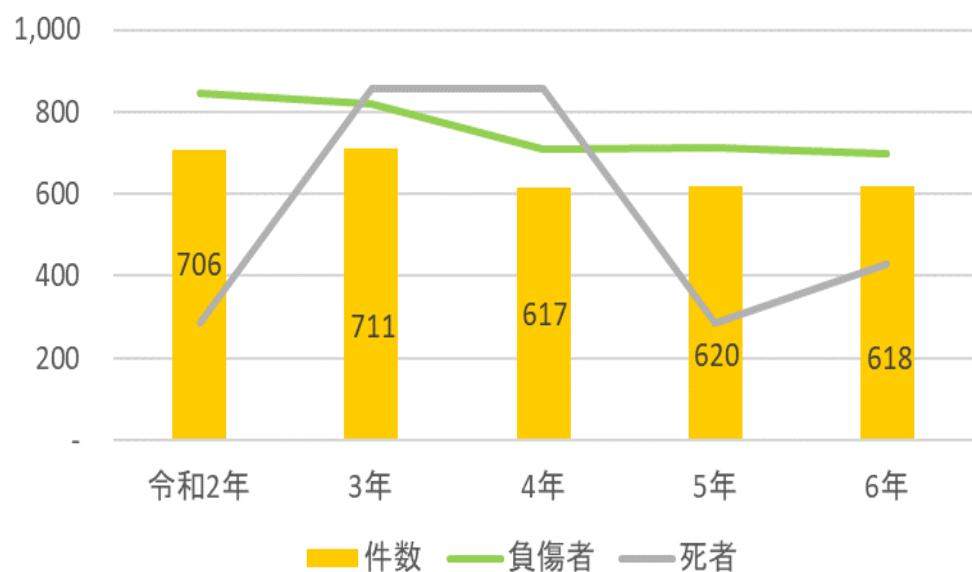
火災発生原因は放火が最多でした。

## ■交通事故発生状況(223)

## 負傷者数

## 交通事故発生状況

## 死者数



直近5年間で交通事故発生件数は減少しており、それに比例して負傷者数も減少しています。

---

## グラフで見る統計あつぎ

—令和6年版—

令和7年4月 発行

令和7年4月 編集

発行 厚木市  
編集 厚木市総務部 行政総務課  
厚木市中町3丁目17番17号  
電話 (046) 225-2180 (直通)  
FAX (046) 223-4058  
メールアドレス 0650@city.atsugi.kanagawa.jp

---